

〔倭名類聚抄十〕道路具橋○中略附

楊氏漢語抄云、葱臺比波○良○橋兩端所堅之柱其頭似葱花故云、

波之良○橋兩端所堅之柱其頭似葱花故云、

〔東雅三地輿〕橋○中 倭名抄橋の條に、楊氏漢語抄を引て、葱臺、橋兩端所堅之柱、其頭似葱花故云、

と見へしものは、橋柱の摺頭、漢に護朽といふもの、即今俗に橋のギボウシといふ是なり、ギとは葱也、ボウシは帽子也、其頭に蒙らしむる義なり。

〔伊呂波字類抄十〕地儀○葱臺堅之柱也、其頭似葱花故名之、所

〔大鏡二太政大臣基經〕御家○中 堀川院は、地形のいといみじきなり、大饗のおり、殿ばらの御車のたちやうなどよ尊者の御車は、川よりひんがしにたて、うしはみはしのひらきばしらにひきつな

ぎ○下

〔蓮歩色葉集幾〕擬寶珠欄干

〔增補下學集下二〕擬法珠具欄干

〔書言字考節用集二〕乾坤○葱臺○橋柱所用出比擬寶珠同

〔攝陽群談七〕農人橋○中 高欄疑寶珠アリ

〔都名所圖會一〕三條橋○中 欄干には紫銅の擬寶珠十八本ありて悉銘を刻

〔伊呂波字類抄加儀〕橋○高欄○カウラン 高欄同

〔易林本節用集良〕欄干

〔書言字考節用集一〕乾坤○欄干○又作二

〔天下南禪寺記〕亭直其北左右皆松前架長廊于赤欄橋

昔宮製、朱其欄故呼之、即今大雲小橋

〔源平盛衰記二十四〕南都合戰同燒失附胡德樂河南浦樂事
木津川ニ廣サ一町計ノ浮橋渡シテ、左右ニ高欄ヲ立タリ。